

坂上忍



俳優 坂上忍
Shinobu Sakagami
1967年生まれ。72年国民的
子役でデビュー。役者として
活躍後、09年キッズアクタ
ープロダクションを設立。現
在はバラエティ番組など多数
出演。動物好きとしても知ら
れ、2022年千葉県内に保護
施設『さかのみ家』開設。7
年前から木更津市在住。



音楽プロデューサー 小林武史
Takeshi Kobayashi
音楽家、ap bank 代表理事。
数々のミリオンヒットを生み
出してきた日本を代表する音
楽プロデューサー。持続可能
な社会に向けた活動を担う非
営利団体「ap bank」を設立し、
環境保全活動や復興支援など
幅広く活動。2019年木更津市
に「KURKKU FIELDS」を開業。

小林武史

綾小路翔



歌手 綾小路翔
Show Ayanocozey
千葉県出身。97年に結成し
たロックバンド「氣志團」の
ボーカル兼リーダー。2001
年にメジャーデビュー。アー
ティスト活動の他に、DJや
執筆、プロデュースなど幅広
いジャンルで活躍。ドラマ「木
更津キャッツアイ」にも出演。
2017年より木更津PR大使。



俳優 中尾彬
Akira Nakao
1942年生まれ。木更津第一高
等学校卒、61年武蔵野美術大
学入学。63年バリ留学後、劇
団「民芸」入団。舞台、映画、
ドラマで活躍。83年、仏「ル
サロン」展でグランプリ受賞。
現在はバラエティー番組など
多数出演。2017年より木更津
PR大使。

中尾彬

木更津の一員に
させて頂いて…

ある番組の企画でセカンドハウスを探し、2年越しで見つけたのが木更津の土地でした。当初、平日は東京で週末に木更津でワンちゃん達とのんびり暮らす予定だったのですが、半年も経たないうちに逆転してしまいました。決め手はワンちゃん達にとって草と土の匂いがこれほど大切なモノだったのかと、痛感させられたことです。とにかくうんちの出がすこぶる良く、東京で暮らしていた時よりも、あつという間に生き生きとした表情になっていきました。私自身もアクアラインを利用すれば各テレビ局まで30~40分程度で着くので、渋滞で時間が読めなかった東京での生活を考えるとかえって交通の便は良くなったくらいです。自然豊かで海沿いの木更津市は、都会の喧騒を忘れることができる最高の土地なのでは？と確信しております。こんな今の暮らしが成立しているのも、ご近所の方々をはじめとする木更津市民の皆様のご理解があったからこそ。感謝してもしきれません。私は木更津に骨を埋めるつもりです。ワンちゃんにも優しい木更津市に、皆さん遊びに来てくださ〜!

都市と地域が
循環するまち

2003年に「ap bank」、2005年に「kurkku」を立ち上げて、「続いていく未来」のための活動を始めました。リーマンショック後、太陽光のエネルギーから循環やその実感を伝えられる場が必要だと思い、探して見つけたところが木更津市矢那（=今の「KURKKU FIELDS」）でした。最初の約10年間は有機農業に取り組む生産活動を行い、2019年に「KURKKU FIELDS」を開業しました。「東京と矢那」、「木更津市内と矢那」2面とも、とても都市と地域の循環を作っていく場所に相応しく、これからますます果たしていく役割が大きくなることを実感しています。気候変動、エネルギー、食料の不安など世界をとりまく問題は多いですが、人間も自然の一部であることを捉え直し、クリエイティブにいくべきだと思います。アクアラインの誕生により、世界でも類を見ない都市と地域の循環が作られている木更津市、そしてそこにつながる内房や房総半島のポテンシャルも含めて、今後この地域のみならず、日本や世界にも影響を与えられるような活動を、木更津市とともに作り上げ、成長していけたらと願っています。

音楽と笑いで
つながった楽園

僕にとっての木更津は青春のすべてです。高校生の頃、姉崎高校の友人から誘ってもらった木更津の先輩方による音楽パーティー「ダイナマイトどんどん」に足を踏み入れたあの日こそが、自分の人生最大のターニングポイントでした。それまで見たこともなかったファッション、聴いたこともなかったミュージック、知る由もなかった仲間同士のリレーションシップ。後にも先にもあんな衝撃には出会ったことがありません。年齢も性別も住む地域も飛び越えて、音楽と笑いでつながったそのコミュニティは、今までの生活とは一体何だったのか？と思うほどに楽園のような世界でした。駅前のロータリーに行けば誰かに会える。あの喫茶店の扉を開ければ誰かに会える。あの店ではあの先輩が働いている。そこで知れた情報、そこで培った経験は普通に学校に通うだけでは絶対に得られないものばかりでした。あの日々の出来事が後の綾小路翔を、そして氣志團を形成しました。人生において幾つもの土地を旅してきましたが、ここまでユニークでユーモラスでハートフルな人々が集まる街を知りません。

美しい光のまち
木更津

波の音が聞こえるほど海の側に家があったので、盤洲干潟でアサリを掘ったり、潮の引いた浜で野球をしたりしたものです。夕方になると「彬、ご飯だよ」とお袋が呼びにきてね。生活の身近に海がありました。木更津の町にはかつてはフェリーがあって、東京や横浜方面に一時ほど出られて便利でした。木更津は光が美しいと思っています。道端にはコスモスの花が光に揺れて、波はキラキラ光って美しい、素晴らしいところです。海が目の前にあって、遠くには山が見える、木更津だからその風景があります。かつて船で帰った時、港が近づくとも赤い燈台が見えて、ああ帰ってきたなあと言う感慨がありました。それは自分の中にしまっておきたい大切な風景です。市制80周年だからといっても特別なことをしなくていい、今の木更津を大切にしたいと思っています。何かするのであれば、街道沿いにコスモスの花を植えるとか、桜の木の苗を植えるとか。今のままの木更津を活かしてもらいたいですね。木更津市の歴史を知ってこれからの木更津を大切にしたいと思っています。

私の好きな木更津市

生き生きできる豊かな自然
テレビで活躍するかたわら、芸能界きつての動物好きとしても有名な坂上さん。私財を投じ、動物保護を継続可能な事業として確立させています。「草と土のにおいがする木更津市は、私だけでなくワンちゃんにとっても優しい地です。」

私の好きな木更津市

自然と共生する新しい潮流
「手前味噌ですが『KURKKU FIELDS』など、新しい潮流が自然と共生する形で生まれているのがなんとと言っても素晴らしいと思います。『KURKKU FIELDS』では、採れたての有機野菜、ミルク、卵、そしてジビエなどが味わえます。」

私の好きな木更津市

国道127号線につなぐ 温かい心
「僕にとっての木更津市の自慢は、強烈なまでに密接した人々の繋がりにあります。『人の心が温かい温かいのが故郷なんだ』(やっさいもっさい) 世界中の人々の心に国道127号線をつなげるのが僕の夢です。」

私の好きな木更津市

大人の粋を楽しむ 質立て遊び
干潟に網を仕掛けて掛かった魚を捕る伝統漁「質立て」。船を仕立てて、自分で捕った魚をその場で味わう質立て遊びはかつて旦那衆の粋な遊びでした。船からの眺めも美しいし、風情がある。遠浅の木更津だからできる楽しみ方だと思います。」